



▲ 緊張しながらの血液検査（小児成人病予防検診・東陽小）

国民健康保険
健康づくり事業結果

児童・生徒107人が要指導

原因は、**偏食と運動不足か！**

町の国民健康保険では、平成4年度からヘルスパイオニアタウン事業（健康づくり）をスタートしました。今年度については、小学校4年生、中学校1年生を対象に小児成人病予防検診（血液検査）を行い、驚く結果を見ました。また、小中学校の保護者を対象に栄養改善教室を開き、子供の成人病予防のための栄養指導、調理実習を行い、お母さんたちに子供の健康管理、食生活の大切さを知っていただきました。

成人病予防準備なんと28.2%

原因はインスタント食品の普及やテレビゲーム

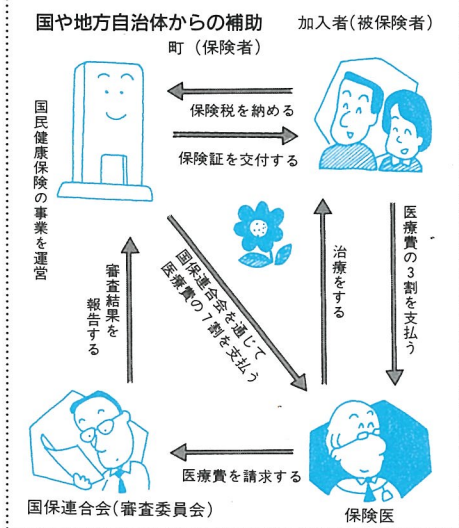
町では、今年度より小児成人病予防検診を実施し、成人病予防準備の指導に当たることになりました。
対象は小学校4年生と中学1年生。肥満度20%以上の小学校5・6年生と中学2・3年生合わせて379人の小児成人病予防検診を
6月11日、14日の2日間で実施しました。
調査結果では、何らかの指導を要する児童生徒が107人（28.2%）と想像以上の数字でした。
各学校別の結果は次頁別表①の通りです。

国民健康保険

加入者が助けあう制度

国民健康保険とは、いつでもなにかかるといわれるかわからない病気やケガの医療費の負担を少しでも軽くするため、日ごろ健康なときから加入者みんなが保険税を出し合い、必要な医療費などに充てようという、助け合いの制度です。そこで、国民健康保険のしくみについてお知らせします。

国民健康保険のしくみ



国民健康保険の役割

国民健康保険の主な仕事は、被保険者がお医者さんにかかった場合の医療費を負担することにあります。私たちが国民健康保険で診療を受ける場合、かかった医療費の3割を自分で負担して支払いますが、残り7割は国民健康保険が負担します。その他、医療費の自己負担額が高額の場合は、一定額以上の医療費は国民健康保険が負担します。また、被保険者の出産や死亡の場合、助産費や葬祭費も支給